



2018年5月8日

各位

会社名 EIZO 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆  
(コード:6737、東証第一部)  
問合せ先 執行役員 経理部長 兼 IR 室長 有生 學  
(TEL. 076-275-4121)

## 第6次中期経営計画策定に関するお知らせ

### Synergy Transformation ～成長エンジンの創出～

当社は、2018年度を初年度とする第6次中期経営計画(3ヵ年)を策定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 中期経営計画基本方針

当社は映像技術を核とした世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い製品を基に、市場や顧客に応じた最適な製品及びシステムソリューションを提案する、「Visual Technology Company」への展開を進めております。

第6次中期経営計画では将来に向けての成長エンジンの創出に取り組みます。これは、「撮影」、「記録」、「配信」、「表示」を包括した「Imaging Chain Innovation」によるトータルソリューションで、ヘルスケア(HC)、クリエイティブワーク(CW)、Vertical & Specific (V&S)の事業領域の更なる拡大及び新市場の創出を目指すものです。

#### 2. 重点施策

##### ① 重点市場別の事業戦略

- HC: ・手術室分野では「Imaging Chain Innovation」により当社領域を拡大。  
・内視鏡分野では製品ラインナップ強化と新しい販売先開拓により販売増加。  
・読影用では従来の重点市場及び戦略市場に東南アジアを加え販売を強化。
- CW: HDR(※1)時代を先取りしシェアを拡大。(※1)HDR=High Dynamic Range
- V&S: 製品ラインナップ強化と映像のトータルソリューション提案により重点市場である航空管制、セキュリティ/監視、船舶向けを中心にビジネスを更に推進。
- アミューズメント: 市場環境の変化に対応した開発・生産体制で、トップメーカーの地位を堅持。

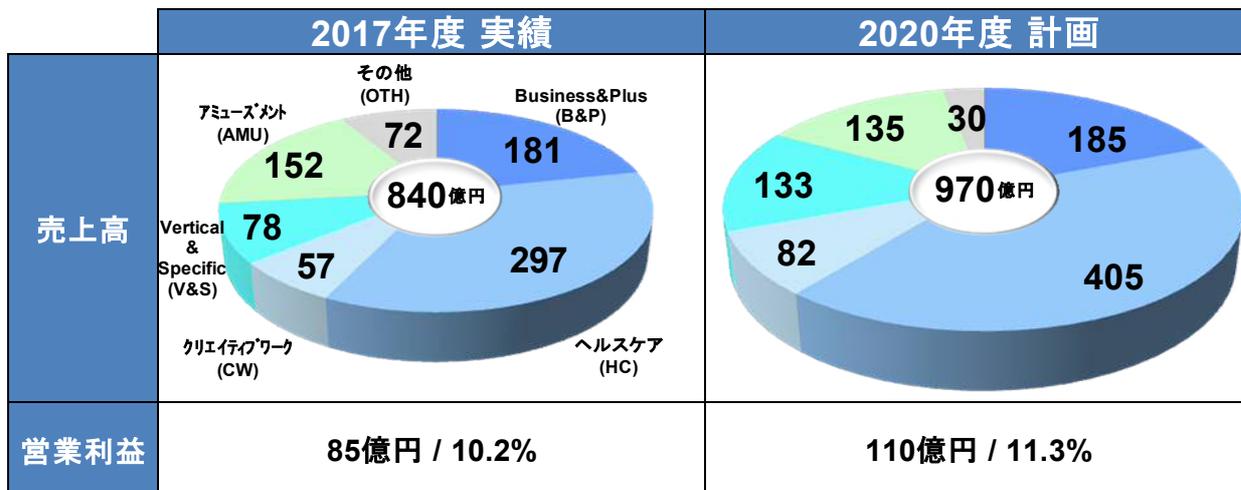
##### ② 成長投資

- 研究開発: 「Imaging Chain Innovation」を加速するための投資強化。
- 設備投資: 欧州・日本を中心に開発・生産体制強化に向けた投資などを積極展開。
- 生産性向上: Work Style Innovationにより、RPA(※2)やIoTも活用した業務プロセスの改革を通じた生産性の向上。(※2)RPA=Robotic Process Automation

### 3. 数値目標

営業利益率 2 桁(10%)以上

最終年度となる 2020 年度の連結売上高目標 970 億円、営業利益目標 110 億円の達成を目指します。



### 4. 株主還元方針

当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案しながら、配当や自己株式取得等の株主還元を実施します。

株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の 40%~50%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤の強化に努力いたします。

(注)本計画に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

なお、詳細については後日、当社 Web サイトに掲載いたします。

<http://www.eizo.co.jp/ir/plan/index.html>

以上